

## **国際協力 Talk Show 「野球でアフリカを変える挑戦 25年！～スポーツ×開発×SDGs～」**

開催日時：6月22日（火）16：30～18：00

実施形態：オンライン

講師：友成晋也氏 一般社団法人 アフリカ野球・ソフト振興機構（J-ABS） 代表理事

共催：本学と山口県 JICA デスク

2021年6月22日（火）にオンラインにて、国際協力 Talk Show 「野球でアフリカを変える挑戦 25年！～スポーツ×開発×SDGs～」を開催し、学内外から35名が参加しました。

トークショーでは、元独立行政法人国際協力機構（JICA）職員で、現在、一般社団法人アフリカ野球・ソフト振興機構（J-ABS）代表理事を務める友成晋也氏を迎え、講演をしていただきました。

友成氏は、JICA 勤務時代に、ガーナ、タンザニア、南スーダンに駐在するなど、国際協力歴30年、アフリカ歴25年の豊富な経験を持っています。

講演では、赴任先の各地で青少年に野球を教え、野球を通して、アフリカの青少年を勇気づけてきたこととお話いただきました。ガーナのある少年が「野球が好き。バッターボックスに立つのが好き。」と言うので、友成氏が理由を聞いたところ、「バッターボックスに立っていると、そのときだけは、チームの仲間が自分だけを応援してくれる。ヒットやホームランを打つかもしいから、対戦相手も僕に注目してくれる、ヒーローになれる。そしてバッターボックスに立つチャンスは平等にまわってくる。野球は民主的だから、僕は野球が好きなんだ。」と語ったエピソードを紹介いただきました。

タンザニアでは現地の野球のローガンとして「規律」「尊重」「公正」が定着し、また、何れの国でも、野球に参加する青少年たちの学業成績が良くなっていることから、各国の教育関係者の野球への関心が高まっているとのこと。「スポーツを通じて、人が育ち、健全な社会を作っていく。」と友成氏が語るように、野球というスポーツが持つ、持続可能な開発目標（SDGs）達成のための力が感じられました。

